

# 令和3年度 海部地区活動報告

海部地区現職教育研究現代文化と教育（図書館）部会

## 1 研究主題

「児童生徒の学びを支える学校図書館」

学びを広げる「学習・情報センター」としての役割を果たす学校図書館づくりを見据えて、本主題を設定しました。安らぎがあり、知的好奇心を抱かせる開かれた環境づくりや問題解決の場や協働的な学びにおける図書の活用を通して、自ら図書を手に取り、学ぶ児童生徒の育成を目指しました。

## 2 集会活動（紙面発表）

10月に行われた海部地区研究集会では、コロナ以前のような各分科会ごとに会場に分かれて行うことはしませんでした。会員が研究集録を各校内にて目を通しました。その後、タブレット端末等を使用し、各分科会ごとのアンケートに答えました。アンケートの回答を集計し、各会員に伝えることで、還流活動としました。



## 3 還流活動

研究集会では、参加された先生方に何かお土産を持って帰ってもらおうと、研究推進員の先生方が牛乳パックで作るブックスタンドを試作しました。材料も揃えて当日を待つばかりでしたが、紙面開催になったため、来年度へと持ち越しとなりました。

各会員の先生方には、選書方法、学校図書館の活用法、図書委員会の活動内容、学校図書館司書との連携、地域の図書館との連携、図書を通じた交流活動の6項目について、アンケートを行いました。意見を集約していくと、以下のような課題が見えてきました。



- 図書を借りる児童生徒が減少傾向にある。読書をしたり図書で調べたりすることの楽しさや有用性をどのように伝えていくとよいか。
- 選書をするときの児童生徒と教師との思いの違いを、どのように摺り合わせていくとよいか。
- 図書を購入する予算が少ない。図書が古くなっても廃棄できない。魅力ある図書が並ぶ学校図書館にするには、どうしたらよいか。

市町村によって実情はさまざまですが、意見を交流していくと、来年度への手立てを講じることができるようになります。

## 4 読書感想文コンクール海部地区審査会

今年度は、海部地区71校全ての小・中・義務教育学校から参加がありました。消毒、手袋、パーティションなど、可能な限りの感染症予防対策を行って実施しました。20名の先生方に審査をお願いしました。どの学年も力作揃いで、審査員の先生方も頭を悩ませていました。

